土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　福川河川改修事業に伴う検討業務委託（2工区）

事業または工事名

調査目的及び調査対象　河川 その他

ボーリング名	No.6	調査位置	広島県福山市神島町			北緯	34° 29′ 01.1700″
発注機関	広島県　東部建設事務所			調査期間	2021年05月24日～2021年05月27日	東経	133° 20′ 27.0000″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 7.50m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 KT-100
総削孔長	14.00m								エンジン NFD-13　ポンプ YBM GP-5

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	5.90	1.60		盛土（シルト混じり砂）		暗褐	rd1		細砂主体。シルト分を少量混入する。部分的に、径2～20mm程度の亜角礫を混入する。GL-0.50m付近、木片を混入する。
2–4	3.50	4.00		盛土（砂混じりシルト）		暗青灰～暗褐灰		rc2	粘性は弱い。不均質である。細砂を少量混入する。部分的に、径2～10mm程度の亜角礫を混入する。GL-1.85m付近、腐植木片を混入する。含水は低い。
5	1.80	5.70		盛土（礫混じり砂）		暗灰～暗黄褐	rd2		細砂～中砂主体。径2～10mm程度の亜角礫を混入する。上部、含水は高い。
6	1.60	5.90		砂質シルト		暗灰			粘性は弱い。不均質である。細砂を混入する。含水は低い。
7	0.00	7.50		礫混り砂		褐～暗灰	rd2		中砂～粗砂主体。径2～10mm程度の亜角～亜円礫を混入する。
	-0.25	7.75		シルト混り砂		淡灰			細砂主体。シルト分を少量混入する。含水は中位。
8	-0.75	8.25		砂混りシルト		暗灰			粘性は弱い。不均質である。上部、ブロック状に細砂を挟む。含水は低い。
9–10	-3.70	11.20		礫混り砂		暗褐～褐灰			中砂～粗砂主体。径2～20mm程度の亜角礫を混入する。最大礫径30mm程度の亜角礫を混入する。 GL-9.40～9.50m間、中～細砂主体、GL-9.50～10.00m間、暗緑灰色を呈する。GL-10.30～10.70m間、暗緑灰色の改良材を確認する。
11–12	-4.50	12.00		砂礫		暗青灰～褐灰			径2～20mmの亜角～亜円礫主体。マトリックスは、粘土混じり砂。下部、礫分の混入が少ない。最大礫径40mm程度の亜角礫を混入する。部分的に改良材を確認する。
13–14	-6.50	14.00		風化花崗岩		淡緑灰～淡灰			強風化花崗岩（鬼真砂）である。棒状コアで採取されるが、コアは指圧で容易に土砂化する。

孔内水位／測定月日：5/24 3.50、5/25 5.11、5/26 5.27

標準貫入試験 深度－N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2	1.15	1	1/200		2/300		
4	1.45 2.15	1	2	1	4/300		
3	2.45 3.15	1	1	1	3/300		
6	3.45 4.15	3	2	1	6/300		
6	4.45 5.15	2	2	2	6/300		
8	5.45 6.15	3	3	2	8/300		
8	6.45 7.15	2	2	4	8/300		
	7.45						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験 現場透水試験	削孔月日
					5/24
					5/25
				10.50～11.00 k=9.68E-5m/s	
				11.00～11.90 k=8.33E-5m/s	5/26
					5/27